

学校種別： 高専	学校課程コード： 2435-001-960
所在地都道府県： 三重県	審査受付番号： 181002
学校名 課程名： 近畿大学工業高等専門学校 本科+専攻科（総合システム工学科（都市環境コース（建築））+生産システム工学専攻）	
対象入学年： 平成30年度（2018年度） 修業年限： 7年	新規申請の認定通知日： 2017/12/25
必要な実務経験年数 試験時：最短0年 登録時：最短0年	変更申請の認定通知日：

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建設・建築製図	3年	3
①建築設計製図	建築設計製図(I)	4年	3
①建築設計製図	建築設計製図(II)	5年	3
①建築設計製図	コンピューター・デザイン演習(I)	4年	1
①建築設計製図	コンピューター・デザイン演習(II)	5年	1
小計			11
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画・デザイン(a)(b)	4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画・デザイン演習	4年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住宅計画	5年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史(I)	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築史(II)	4年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	デザイン構成論(a)(b)	5年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境	4年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境工学(a)(b)	5年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備(a)(b)	5年	2
小計			12
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学(I a)(I b)	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学(II a)(II b)	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学(III a)(III b)	5年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	耐震工学(a)(b)	5年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造設計(a)(b)	5年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学特論	6年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構法	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造(a)(b)	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	コンクリート構造学(I a)(I b)	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	コンクリート構造学(II a)(II b)	5年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	スチールストラクチャー(a)(b)	5年	1
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建設材料学(a)(b)	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	都市工学実験	4年	3
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建設材料学特論	7年	2
小計			27
⑧建築生産	建築施工(a)(b)	5年	2
小計			2
⑨建築法規	建築法規	4年	1
小計			1
⑩複合関連科目	測量実習(I)	3年	3
⑩複合関連科目	地盤工学(I)	3年	2
⑩複合関連科目	測量学(I)	3年	2
⑩複合関連科目	造形デザイン演習(I)	3年	1
⑩複合関連科目	造形デザイン演習(II)	4年	1
⑩複合関連科目	景観環境デザイン(a)(b)	5年	2
⑩複合関連科目	図学(a)(b)	2年	2
⑩複合関連科目	都市環境生態工学特論	7年	2
⑩複合関連科目	都市交通計画学特論	7年	2

学校種別： 高専	学校課程コード： 2435-001-960
所在地都道府県： 三重県	審査受付番号： 181002
学校名 課程名： 近畿大学工業高等専門学校 本科+専攻科（総合システム工学科（都市環境コース（建築）） +生産システム工学専攻）	
対象入学年： 平成30年度（2018年度） 修業年限： 7年	新規申請の認定通知日： 2017/12/25
必要な実務経験年数 試験時：最短0年 登録時：最短0年	変更申請の認定通知日：

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
⑩複合関連科目	農村地域計画学特論	7年	2
⑩複合関連科目	都市地域計画学特論	6年	2
小計			21
①～⑨計			53
①～⑩計			74

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上 ②③④ 2単位以上 ⑤⑥⑦ 3単位以上 ⑧ 1単位以上 ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。